

# 子ども一人ひとりが 自分らしく すすくと 育ってほしい!

## 【飯野小学校】

■「自分が好き 友達が好き 飯野町が好き」このキャッチフレーズこそまさに、子どもが自分らしさを大切に、郷土を愛して生きる理想を表現しています。

### <取り組み>

#### ● クラスの雰囲気作り

自分の気持ちや考えを素直に発言できる教室の雰囲気作りに努めています。

#### ● 「命の授業」

3年生から、男女の体の違いについて学習し、互いの性を尊重し、命を大切にする気持ちを育てています。

#### ● 「家庭科の授業」(5・6年生の調理実習)

実際にやってみると、食事作りも手順や段取りに工夫があることに気づきます。家事を手伝う気持ちが生まれました。

#### ● 「生活科の授業」

家庭での家事の役割分担調べ。お父さんもゴミ出しなど、協力し合って家事をこなしている家庭も多いようです。

#### ● 「地域の人との交流」

総合的な学習の時間では、学年ごとに保育所・養護学校・福祉施設との交流他、お年寄りや外国の方とも触れ合う機会をつくっています。また、地域の人と一緒に米作りにも取り組んでいます。そうした様々な活動を通して、地域への感謝と愛着の気持ちが育まれています。

#### ● 「なかよし集会」

飯野っ子なかよし宣言をみんなで声をそろえて言い、飯野小学校の全員が仲良くしていくことを確かめました。



## 子どもの虐待に気づいたら

保護者が、子どもの体や心を傷つける虐待は、子どもに対する重大な人権侵害です。

・身体的虐待 ・性的虐待 ・心理的虐待 ・ネグレクト(育児放棄)

### <児童虐待の現状>

平成18年度に香川県の児童相談所で対応した児童虐待相談対応件数は420件で、前年度に比べ20件(前年度比5%)増加しています。

(厚生労働省：平成18年 児童相談所における児童虐待相談対応件数)

### 子どもを虐待から守るための5か条

- ① 「おかしい」と感じたら迷わず連絡(通告)
- ② 「しつけのつもり…」は言い訳(子どもの立場で判断)
- ③ ひとりで抱え込まない(あなたにできることから即実行)
- ④ 親の立場より子どもの立場(子どもの命が最優先)
- ⑤ 虐待はあなたの周りでも起こりうる  
(特別なことではない)

児童虐待の相談を受けたり、気づいたら、まず相談窓口へ連絡、相談しましょう。

#### 相談窓口

受付時間 月～金・8:30～17:00(祝日を除く)  
 ・丸亀市児童課 0877-23-2201  
 ・西部子ども相談センター 0877-24-3173

丸亀市では、平成14年から、モデル校を設置して、教育現場での男女共同参画実践研究をすすめています。今回は、平成18・19年度モデル校の飯野小学校と城辰幼稚園の取り組みをご紹介します。

両校とも、子どもが安心して自分を思う存分発揮できる環境作りをしています。教師が、普段の授業や園生活の中で、「男子だから、こうでなくてはならない」「女子だから、こうあるべき」という意識にとらわれず、男女平等の精神で、一人一人の子どもを尊重し、その子らしさを大事に育てていくことこそ重要です。

## 【城辰幼稚園】

- 子どもの年齢に応じた経験や、判断力の育成を図るために、子どもの意思を尊重し、自分でできることは自分で、自分で選んでいく、話し合いの場を多く持つことなどを大切にしています。
- 「園便り」「クラス便り」「人権便り」などを通して、幼稚園における人権教育について保護者にも理解していただくようにしています。

### <取り組み>

- 卒園式のコサージュや記念鉛筆の色も、自分の好きな色を選びます。
- 遊戯会の劇の配役も、オオカミ希望の女児や、魔女希望の男児もいます。「七匹の子やぎ」の劇では、原作にないお父さんやギになりたい男児がいたので、シナリオを変更して父やギ役を設定。子ども主体の独創的な創作活動が実を結んでいます。
- 運動会の鼓隊担当楽器も、以前は、太鼓やシンバルは男児、キーボードやグロッケンなどメロディー楽器は女児担当だったが、近年はやりたい楽器を自由に選ぶことにしています。自分で決めたことなので、意欲的に最後までがんばってやり遂げることができています。
- リレーも男女混合チームで順番も男女別なし。練習の時からチームの中で、「どんな順番にしたら勝つことができるのか」など、みんなで話し合いながら試行錯誤している姿が頼もしい。
- 「ふれあい参観」(親子体操などの日曜参観)や行事には、父親も積極的に参加・協力しています。“お助けマン”(運動会のリレーで、順位は変えずにチーム間の差を縮めるために力走する父親)の走りもほえましい。
- 田植えや稲刈り、福祉施設慰問など、地域の人との交流体験や、年長さんの小学校入学体験も楽しい行事の一つです。



飯山北幼稚園講師 池田 迅さん  
 ※ジェンダー・バイアスとは、社会的性別(ジェンダー)に基づく偏見および傾向。

**ジン先生は大人気!**  
 ばら組(4歳児)の子どもたちは、「高い高い」と抱き上げてくれる背の高い、絵が上手なジン先生が大好きだ。  
 最近では、幼稚園教諭の資格を取得する男子学生が増えている。現場でも、日々子どもたちと接する先生に女性だけでなく男性もいることが幼児の成長に大切だと感じている。しかし、実際に幼児教育に携わっている男性はまだ少ない。  
 女性ばかりの職場に最初は違和感があったという池田先生。保護者たちの戸惑いも感じたが新任時を振り返る。そんな周りの思惑など関係なく子どもたちは、自然になじんだ。男性の幼稚園教諭という目で見ると、人のジェンダー・バイアスに気づき、子どもたちから男女共同参画の神髄を教えられた。

幼稚園教諭の採用に男女は無関係という丸亀市の姿勢に、男女共同参画社会の到来の足音が聞こえる。